

議会だより

第9号

<http://www.town.fujikawa.yamanashi.jp>



のんびりゆったり
富士川舟下り

■ 新しくなった委員会構成 !!	2
■ 地区懇談会	4
■ 休日議会	7
■ 医療問題	8
■ 一般質問(7議員が登壇)	9
■ ふじかわ昔ばなし	16

第1回臨時議会

4月27日に開かれた第1回臨時会で、議長・副議長および4つの常任委員会などの議会構成を決定しました。
また、条例改正、一般会計補正予算など専決処分承認案8件を審議した結果、原案のとおり承認しました。

委員会構成!!



議長
芦澤 益彦



副議長
保坂 寛

議長就任のあいさつ

富士川町民の皆さま、新町が誕生して3年目に入りました。町民間の融和も着実に醸成される中で、議会活動にも深いご理解とご協力を賜り、議会を代表して心より厚く感謝を申しあげます。

議員にも政策立案能力、議会本来の機能である監視、チェック機能の強化が求められています。

議員ひとり一人が資質の向上に努め、議会改革を推進することです。

富士川町議会は「議会改革特別委員会」を設置して取り組んでいます。これを継承し進めてまいります。

さらに、町民皆さまのニーズに答えられるよう、執行機関と議会が一体となって本町発展と住民福祉向上を目標し、職責を全うする考えであります。

議長就任に当たり、重ねて町民皆さまのご理解、ご協力と、併せてご指導ご鞭撻をいただきますよう、お願い申し上げます。

今、地方自治体にとって人口減少、少子高齢化の波は多くの選択肢を失い、財政の逼迫する中、執行者側も地方自治施行以来の大改革が求められています。私たちが議会の課題として、

教育厚生常任委員会



委員

望月 邦彦

副委員長

市川 淳子

委員

鮫田 洋平

委員長

秋山 貢

委員

神田 智

総務常任委員会



委員

井上 勝

委員

深澤 勝雄

副委員長

長澤 健

委員長

齊藤 正行

委員

齊藤 欽也



新しくなった

広報常任委員会

委員長 神田 智
副委員長 鮫田 洋平
委員 保坂 實
" 井上 勝
" 深澤 勝雄
" 井上 光三

議会運営委員会

委員長 齊藤 欽也
副委員長 永井 寛子
委員 保坂 實
" 堀之内美彦
" 神田 智
" 齊藤 正行
" 秋山 貢

峡南広域行政組合議会議員

小林 進 堀之内美彦
齊藤 正行

三郡衛生組合議会議員

深澤 勝雄 永井 寛子
市川 淳子 秋山 貢

中巨摩地区広域事務組合議会議員

望月 邦彦 齊藤 欽也

山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員

保坂 實

富士川町消防委員会委員

井上 勝 深澤 勝雄
齊藤 欽也 齊藤 正行

富士川町監査委員

永井 寛子

産業建設常任委員会



委員	副委員長	委員長	委員	委員
小林 進	井上 光三	堀之内美彦	永井 寛子	保坂 實



第2保育所交通安全教室

(一番右=いしいそうたろう、右から2番目=ぴっかり高木)

出演予定イベント

- ・ふじかわ夏まつりR52 (7月28日)
- ・ますほワールドグルメブラザ (10月下旬)
- ・ゆづの里まつり (11月中旬)
- ・氷室の郷ふれあいまつり (11月下旬)
- ・大柳川やずらぎの里もみじ祭り (11月中旬)
- ・甲州富士川まつり (11月11日)

「富士川町いいところじゃ
ん課アピール係」に配属

3月定例会で提案され承認した本年度注目事業の一つ「住みます芸人」の事業が動き出しました。「ぴっかり高木といしいそうたろう」の、いしいそうたろうさん一家が富士川町に住み、富士川町の良いところをPRするという企画です。

になり、各保育所の交通安全教室や小室のあじさい祭りへ参加しています。本人のブログでもしっかりと富士川町をアピールしてくれています。このほかにも、本年度町で行われる各種イベントへの参加が予定されています。

よしもと

あなたの街に「住みます芸人」が
あなただけの「よしもと」が
あなただけの「よしもと」が
あなただけの「よしもと」が

住みます芸人 4 富士川町

開かれた議会を目指して

5地区で町民と議員の懇談会を開催（第2回）

テーマ 地域医療問題と平成24年度当初予算

参加者にとったアンケートの内容を地区ごとに掲載しました。

1 中部・五開区

日時：5月15日 場所：高齢者ふれあいセンター 参加者：25人

問 鯉沢病院の存続は必要だが、町運営は大変。
議会として医療問題をどう考えているか。

答 多様な選択肢を議論中、国・県への働きかけをする。

問 森林環境税の内容は。

答 荒廃林の間伐整備のため。

（中部小特別教室の耐震化工事促進や、光回線敷設への基盤整備などの意見・要望があった）。



アンケート

- ・農家の高齢化が進み、荒廃農地が増えている。若者が就農できる環境づくりを。
- ・医療は大事な問題、議会の対応に期待する。
- ・これからもこのような機会を作ってもらいたい。



2 青柳町区

日時：5月17日 場所：青柳地区公民館 参加者：37人

問 鯉沢病院の存続は切なる願い、町と議会が一体となり活動しているのか。

答 町と議会は一体で、同じ方向で進んでいる。

（バイパス東側の農道整備と住宅近くの排水路整備を要望している。早期実現や観光交流センター（道の駅）整備についての意見・要望があった）。

アンケート

- ・医療問題は町民・議会ともに、がんばっていきましょう。
- ・議会は町民の代表、議会報告と説明に工夫を。
- ・町民と議会が近くなった。
- ・議員はもっと町内を歩いて、現状を知り勉強を。
- ・町と議会が一体となり総合病院、中核病院の実現を。
- ・富士川町住民のためには、鯉沢病院が絶対に必要。
- ・町と議会が一体となり、総合病院目指し頑張れ。
- ・意見交換は有意義だった。

3 穂積区

日時：5月18日 場所：ゆずの里ふれあいセンター 参加者：21人

問 峡南病院を除く2病院を統合し、運営基盤を強化する素案だが、運営はどこですか。

答 一部事務組合という話もあった。中核病院として医師を確保し、地域医療体制を充実する内容である。

問 三筋（平林・小室高下・五開中部）の観光や県道拡幅について。

答 三筋の地域振興は必要、トレッキングコースも決まり、県道拡幅も県が動き出した。（中山間地域対策などの意見・要望があった）。



アンケート

- ・中山間地域住民の意見を聞いてくれて、ありがとうございます。
- ・休日議会は大変良い。
- ・懇談会は有意義だった。
- ・今後とも町行政のムダ・ムラをなくし、健全な富士川町の発展を願う。
- ・地域医療問題は大切、町と一体となり頑張れ。



4 最勝寺区

日時：5月22日 場所：最勝寺地区公民館 参加者：23人

問 3つの条件で町単独で取得は無理。県主導で進めてもらいたいが。

答 特別委員会で議論する。

問 医師を揃えればいいわけではない。患者と医師との信頼関係が大事ではないか。

答 地域で病院を守る意識が必要と考える。

問 町の木がゆずの周知は。

答 議会でも検討するが、ゆずの木を植えPRしていく。

アンケート

- ・少子高齢化の進む中、三筋の振興対策の検討を望む。
- ・率直な質問にきちんと答えていただき、うれしかった。
- ・峡南病院廃止の結論には無理がある。廃止は破談にして3病院の統合を考えてほしい。
- ・病院統合について議会としてしての方向性を出してほしい。

5 長沢区

日時：5月23日 場所：長沢地区公民館 参加者：35人

問 救急医療の充実した体制を望むが、二度と白紙にならないよう慎重な協議進行を。

答 不十分さを反省している。

問 2病院統合の見通しは。

答 3病院統合は白紙に戻ったが、今後は県主導で進める。

問 地域医療再生への議会の方針は全員同じか。

答 全員一致して進めている。（町補助金交付の適正化などの意見・要望があった）。



アンケート

- ・病院問題は課題が多い。町との連携の中で慎重に進めてほしい。
- ・白紙になった3病院統合は詰めが甘かったのでは。他をスリム化しても病院には金をかけるべきと考える。
- ・病院統合よりも鯉沢病院は残してほしい。
- ・鯉沢病院の機能を充実し、利用できるように希望する。
- ・鯉沢病院を存続できるよう、国・県・町が一体となり協議を進めてほしい。

国民文化祭・やまなし2014

小林区(鷹座巢小林八幡太鼓)と鯉沢ばやし保存会に補助

補正額 765万9千円
総額 70億188万9千円

おもな補正予算

- 小林区(鷹座巢小林八幡太鼓)および鯉沢ばやし保存会へのコミュニティー助成事業補助金

500万円



今に伝わる鯉沢山車

- ますほジュニアクワイアの東日本大震災被災地訪問事業補助金

72万円



ジュニアクワイア東北へ

- 商工会振興事業補助金減額

377万円

- 土砂災害ハザードマップ作成業務委託

480万円

- 4地区へ携帯型簡易無線機コミュニティー助成事業補助金

178万円

- 中学校へ映画「道～白磁の人～」鑑賞補助金

26万円

- 地すべり災害による林道柳川箱原線測量設計業務委託

450万円

6月定例会は、6月8日から15日までの8日間の会期で開催されました。

町長より提出された条例制定2件、条例改正6件、一般会計および特別会計補正予算4件、第4保育所改修建築主体工事請負契約1件、同意2件、発議1件、計16議案を審査した結果、富士川町男女共同参画推進条例が継続審査となり、他は原案のとおり可決しました。

このほか「独立行政法人地域医療機能推進機構法」の早期実現を求める意見書を原案のとおり可決しました。

条例制定

教育厚生常任委員会

・富士川町男女共同参画推進条例の制定について概要

男女共同参画社会の実現に向けて、基本理念を定めるとともに、町・町民および事業者などの責務を明らかにし、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを推進するための条例制定

継続審査
(さらに詳細な検討が必要なため)

総務常任委員会

・富士川町暴力団排除条例の制定について

町民の安全かつ平穏な生活を確保し、社会経済活動の健全な発展に寄与するため暴力団排除に関する基本的施策などについて必要な事項を定めるための条例を制定。原案可決

条例改正

- 個人情報保護条例
- 住民基本台帳カードの利用に関する条例
- 印鑑条例
- 手数料条例および子ども医療費助成金支給条例
- 心身障害児福祉手当支給条例
- ひとり親家庭医療費助成に関する条例

同意

カラマツオ外三十山恩賜林保護財産区管理会委員の選任に同意。

意見書

8ページに原文を掲載

休日議会を開催

今定例会では、6月10日(日)に休日議会を開催しました。これは議会改革の一環として、住民の方に広く議会の活動を知ってもらうためのものです。

当日は7人の議員が一般質問を実施。約30人の方が傍聴に訪れました。傍聴者に行ったアンケートの結果を参考にして、今後の休日議会に生かしていきます。

傍聴者アンケート集計結果

(アンケート回答者人数10人)

【性別】

男性 8人
女性 2人

【これまでに議会を傍聴したことがありますか】

今回が初めて 4人
以前にも傍聴したことがある 6人

【年齢】

男性 30歳代 1人
40歳代 3人
50歳代 1人
60歳代 2人
70歳代 1人
女性 30歳代 1人
40歳代 1人

【休日議会の試みをどう思いますか】

良い試みである 8人
開催しなくても良い 1人
無回答 1人

【今後も休日議会の開催を希望しますか】

する 7人
どちらでも良い 1人
無回答 2人

傍聴しての感想

- 各議員が傍聴者(自分の支援者)を勧誘することなく、実力で傍聴者が集まるようであれば、町民の生活様式も考慮し、実施することも良いが、少人数であれば経費面(かかるのか否か)が分らないが、も検討する必要があると思われる。
- 休日議会であるので傍聴者が多いかと期待して来たが少なかつた。15人程度。子どもが来場して、わかりやすい定例会もあつたら良いと思う。自分たちの学校のこととかを、大人の人が話が話し合ってくれている姿を見られたら良いと思う。
- 平日に傍聴することができない町民が参加できる、すばらしい制度だと思つた。
- 休みのほうが時間的余裕がある。継続は力なり。最初の時より確実に傍聴人が増えてるはず。がんばって下さい。
- もう少しマイクの音を大きくしてもらいたい。
- 町政での動きがいち早くわかるのと、流れがリアルに分かつて良いと思う。

議会だよりに皆様の声を!

— 議会広報モニター8人を委嘱 —



石井 七生さん



渡邊 直樹さん



依田 一二三さん



田中 江美さん



原田 由久さん



市川 由美さん



丸山 英貴さん



神田 和子さん

議会広報常任委員会は6月29日、議会広報モニターの委嘱式を行いました。委嘱期間は議会だより12号(平成25年3月定例会)までとなります。今後8人のモニターには、議会だよりが読みやすく、分かりやすい紙面になるよう、ご意見などをいただきます。

どうなる 地域医療

山梨県地域医療再生 計画の取り組み

「北部地域医療連携部会」

の検討経過

これまで峡南北部の医療について地元主体として検討を行っていた「地域医療体制調査検討委員会」および「市川三郷町・富士川町新病院設置協議会」が解散したことに伴い、今後は、山梨県地域医療再生計画に基づき設置されている「北部地域医療連携部会」が中心となり、県主導により検討が進められることとなった。

第1回部会は、6月6日に開催され、今後の検討手順・スケジュールが確認されるとともに、医療連携の類型として四つのパターンが例示された。

第2回部会は、7月3日に開催され、望ましい医療連携のあり方について、連携の基本方針、基本目標、機能分化や役割分担の方向性などが協議された。また、住民への情報提供として、県のホームページに質疑応答形式のコーナーを設けることや、出前説明会を開催することも確認された。

議会の取り組み

内閣総理大臣、厚生労働大臣、RFO理事長に意見書提出

議会では、新病院設置協議会が解散されたことを受け、県主導の地域医療再生計画を見守るとともに、地域医療を守るため考えられるさまざまな方策に取り組

んでいくこととし、このたび、内閣総理大臣、厚生労働大臣、RFO理事長あてに次の意見書を提出した。

「独立行政法人地域医療機能推進機構法」の早期実現を求める意見書

社会保険鵜沢病院は、昭和21年5月開設以来、66年間にわたり地域の公的病院として、住民の命と健康を守ってきた。しかしながら、近年の全国的な医師不足等による医療崩壊の危機が懸念されている中で、社会保険鵜沢病院においても、常勤内科医の不足から救急患者の受け入れが困難な状況が続き、内科病床は閉鎖を余儀なくされている。このままでは、地域住民の生命をも脅かしかねない、重大な影響を及ぼすことが危惧されている。

富士川町では、平成20年に「独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構（RFO）」に社会保険鵜沢病院が移管されて以降、存続のための方策を模索して来た。

昨年、議員立法により「独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構法」の一部改正が行われ、平成26年4月より「独立行政法人地域医療機能推進機構」に生まれ変わる事となった。「整理機構」から「推進機構」へと改組されることは、社会保険病院を抱える地域にとって病院の存続の道が開かれ、過疎と高齢化に悩む多くの地方自治体住民に夢と希望と安心を与えるものである。

しかし、本年4月より新理事長の下、新機構発足に向けた取り組みが始まったが、いまだその姿が具体的に見えていないのが実情である。

すべての国民が等しく良質な医療サービスを受けられるよう、社会保険鵜沢病院の存続を強く求め、「独立行政法人地域医療機能推進機構法」の目的に沿った施策の具体化を早急を実現されることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年6月15日

山梨県富士川町議会議長 芦澤 益彦

町政を問う 一般質問

さめた洋平
議員



問 新しい形でのリアルタイムな情報発信を

答 新たな情報発信方法を活用していく

問 ソーシャルメディア（ブログ・ツイッター・フェイスブックなど）の活用について、今後どのように取り組んでいくか伺う。

企画課長 ソーシャルメディアを各種の情報手段として活用している自治体もある。しかし、住民からの意見や問い合わせの対応に、組織上ある程度の時間を要することから、回答が遅くなるなどの混乱を招く要素も持ち合わせている。先進自治体の多くは、一方方向の単なる情報発信源といったホームページのソーシャルメディア版といった活用にとどまっている。



新しい形の情報発信のイメージ

町 としては、ソーシャルメディアは、あらゆる情報を発信できる有効な手段であることから、掲載項目などの検討を行い利用していきたいと考えている。

問 はじめの段階では、一方方向で発信をしていくのか。

企画課長 双方方向は、回答に時間を要するという難点がある。現在のところは一方方向の利用を考えている。

問 今後、利用していく中で双方方向にしていくという考えでいいのか。

企画課長 先進事例などを参考にすると、双方方向の方法ではいろいろな課題があり、現地では一方方向の利用を

考えている。

問 現行の広報活動の見直しや新たな活動について、どのように考えているか伺う。

企画課長 現在は、毎月末に「広報ふじかわおよびくらしのカレンダー」を発行。CATVやNHKの文字情報なども活用し、行政情報の発信を行っている。

今後は、広報やホームページで住民からの意見を調査し、寄せられた意見をもとに新たな情報発信の方法などを検討する。

問 ホームページの使いやすさや掲載情報の更新など、今後どのような改善をしていくか伺う。

企画課長 期限を過ぎた情報は、直ちに削除するように各課に指示した。

使いやすいさについて現在検討を行っている。本年度中には検討結果をもとに改善を行い、改めてホームページの利用者から意見を求め、さらに使いやすいホームページにしていきたいと考えている。

問

3条件が整わなければ 病院買い取りは断念するのか

答

条件が整わなければ 取得しない

長沢けん 議員



社会保険鯉沢病院

問 6回の懇談会での町民の印象はどう受け取ったか。
町長 地域医療の充実を願う熱い思いは、行政も町民も同じ思いであると深く認識した。

問 町長が直接RFO新理事長に、鯉沢病院の充実をお願いするべきと考えるか。
町長 RFOの理事長に会う前に、厚労省と話をする。

問 3万1744人分の署名もRFOの尾身理事長に届けるべきと考えるか。
町長 現在、県のところに署名があるが、厚生労働省にも存続を願う思いは伝わっていると思う。

問 国や県の最終的な答えをもらう前に、なぜ買い取る意思を見せているのか。
町長 買うという事はまだ一言も言っていない。買うに向けての検討をすと言っている。3条件が揃わなければ検討するにも値しない。

問 町長の3条件の中には医師の確保とある。この医師確保の年数や人数は。
町長 地域医療再生計画で、

鯉沢病院が中核的な総合病院に位置づけられ、山梨大学医学部の地域医療研修センターとして活用すれば、恒久的な医師確保が図られるものと考えている。

問 3つの条件が整わない場合、買い取りは本当に断念するのか。
町長 中核的病院としての位置づけ、山梨大学附属病院からの医師の確保、地域医療再生臨時特例交付金の活用、この3つが私の言っている条件。

医師確保の見通しがなく、救急医療や災害医療など、地域が求める医療が困難な状況のまま、鯉沢病院を取得することは考えていない。

安全・安心な 通学路の確保は

問 通学児童を巻き込む事故が全国的に報道されているが、町として対策は講じているか。
教育長 学校やPTAで、

通学路における安全点検を実施した。危険箇所への道

路標識、ガードレール等の設置、学校周辺道路の路側帯のカラー化など、交通安全対策に努める。

問 町道最勝寺・小林2号線に、以前も歩道の設置をお願いしたが、検討しているか。
建設課長 路側帯にカラー舗装化等の検討をしていきたい。

町長 竹重地区から増穂小学校という限られた範囲ではなく、学校の周辺をこれから順次やっていきたい。

用語解説

RFOとは

厚生労働省所管の、独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構の略で、年金福祉施設等の整理を図り、厚生年金保険事業、国民年金事業および全国健康保険協会が管掌する、健康保険事業の適切な財政運営に資することを目的としている。

問 久保町長は市川三郷町立病院を中核的 病院と位置づけたいと言っているが

答 病院機能が 保てればこだわらない

秋山 貢 議員



問 町主催の地区懇談会でアンケートを取るといつていたが、なぜ取らなかったのか。

町長 議員の皆さんからさまざまな意見をいただき、総合的に判断した結果、取りやめた。

問 取る予定のアンケートは誰が読んでも鯉沢病院購入検討に賛成と答えるようになっていた。町民を扇動する典型的な手法である。議会のチェック機能が働いて、事なきを得たと思っている。懇談会でも説明していた、地域医療機能推進機構の再確認の

具体的な方法は、**町長** 県や国会議員を通じて、厚生労働省をはじめ関係機関に確認して判断していきたい。

問 現在、鯉沢病院を運営している全社連には、国から一円も補助金は入っていない。全社連で運営している51病院の平成22年度決算では、19の病院が赤字である。しかし、全社連全体では、94億3900万円の利益が出ている。公的病院グループ

からだこそ、赤字病院を抱えても運営できている。さらに地域医療機能推進機構を構成する4法人には合計1400億円の資金がある。

町長 地区懇談会で、赤字の病院だから借り入れするのに償還計画がしっかりしないと借りられないと説明していた。何を根拠にしているのか。

町長 厚生省によると、全社連が赤字の病院をいつまでも抱えるわけにもいかな



第2回北部地域医療連携部会（7月3日）

いはずだといっている。

尾身理事長に鯉沢病院は大丈夫と言っていただければ問題は解決する。今後、尾身理事長に会いたいと思っ

問 明日にでも、尾身理事長に会って話をしたい。きたいが。

町長 会わないとは言っていない。まず厚生省の意向を聞いて、RFOと全社連にも当然聞いていく。

問 久保町長は、新病院の設置協議会の解散原因の1つは、中核病院に常勤医を15人配置すると、従たる病院には2人しか配置できないからだと言っていた。このような状況で県主導の協議は進むのか。

町長 県医務課が中心となり、関係者に聞き取りをする中で、新しい素案が協議されていくと考えている。

問 久保町長は、市川三郷町立病院を、中核的病院に位置づけたいと言っているが、**町長** 病院機能が保てれば、

問 頭を切り替え新たな道を

答 法案通り実施されれば 解決できるが

斉藤 欽也 議員



問 町民懇談会の目的は。
町長 これまでの取り組みの状況説明と、地域医療を守るための考え方について説明した。

問 「病院を買い取るための説明会ではないのか」との意見については。
町長 そういうことを視野に入れる必要があるが、今回は、特別の意図はない。

問 3病院統合が白紙となった。当然、頭を切り替えるべきであるが、今なぜ、3条件まで示して病院買い取りに言及するのか。
町長 住民の反応を見なが

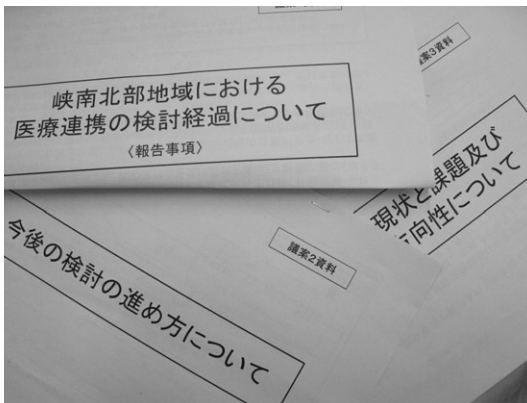
ら、今後の検討に役立てたい。最終的には峡南地域の医療を守っていくことが目標である。

問 新法は地域に希望を与えた。町長は説明会で「国はあてにならない。法律は政治家が変わればどうなるか分からない」といったが、法律は法律である。新機構が26年に発足する。病院問題が白紙になった今、新たな道を開くべきではないか。
町長 政権が変われば方針が代わるというのは、国の官僚が言った言葉である。あの法律通り実施されれば、

問題は解決すると思う。

コンビニ業者への町有地貸し出しの影響は

問 昨年「朝市よりみちマーカー」を開催している「河岸跡公園」の南側を、コンビニ業者に貸し出した。この話が町長よりあった。1月30万円、30年間で約1億円の収入になる」との事であるが、町有地を貸し出すことによって、現在本町地内で営業している、身近なコンビニがなくなる可能性もある。これは、高齢化率32%の地域にとって日常



2年前と変わらない説明資料

用語解説
プロポーザル方式
複数の者に企画を提案してもらい。その中から優れた提案を行った者を選定する方法。

生活上の問題であるし、また、町営の「塩の華」の集客減にもつながる。町の直接的な収入が増えるから良いというものではない。将来の町づくりと合わせ考えなくてはならないが、どのような検討をしたのか。

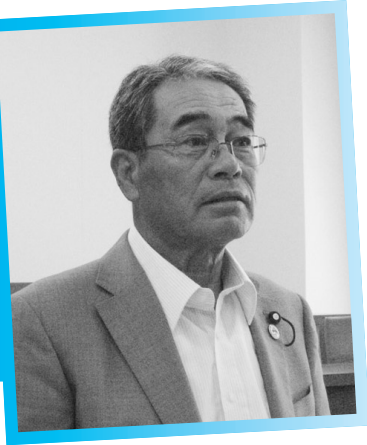
町長 商工会・元気会、区長、住民の意見を聞き、住民にはアンケートも実施した。

「利便性が向上する」「商店街への影響はない」との意見が多かった。今あるコンビニが閉鎖するという話は聞いていないので、その心配はないと思う。業者選定をプロポーザル方式で進めていく。

問 人事評価制度の現状は

答 25年度からの本格実施に向け取り組む

神田 智 議員



問 人事評価制度は、住民目線で質の高いサービスに心がけ、常に改善・改革に取り組む、効率的に職務を遂行する職員であることを目指しており、従来の年功序列型から能力、実績への移行をしようとする制度であるが、3年目を迎え現状を伺う。

総務課長 目標に対する達成度を評価する業績評価と、達成するためのプロセスを評価する能力・態度評価の2種類を行っている。
一次、二次評価を行い、総合的に評価した結果を数値化するなど、人事評価の

仕組みを確立させ、平成25年度の本格実施に向けて取り組む。

問 評価結果はどのように反映させるのか。

総務課長 能力、実績に応じた人事配置、昇任、昇給昇格、勤勉手当等への反映を考えている。

問 評価の低い職員に対するの教育は。

総務課長 総合評価の良し悪しではなく、目標達成のプロセスを分析し、原因を明確にして指導・育成を行い、役場全体で「人を育てる環境や風土づくり」に取り組んでいる。

小中学校の屋上の太陽光発電設置を

問 小中学校に生徒の学習環境改善としてエアコンを設置している。電気の大切さを教育する学習として、太陽光発電設置の考えは。
町長 小中学校だけではなく、公共施設もつけられるところは調査しており、来年以降順次、計画的に付けていく。

国民健康保険税の賦課方法は

問 本年度、保険税の税率税額が大幅に改正され、加入者への負担が増加している。現状は所得割、資産割、均等割、平等割の4方式の合算賦課となっている。資産割賦課については、2重課



住民目線で質の高いサービスを

税との声がある。平等性を確保し、滞納者をこれ以上増やさない方式は、どれがふさわしいか伺う。
町民生活課長 国民健康保険運営協議会の中で、所得割均等割、平等割の合算額による3方式課税を検討している。

地域医療の問題 結論を急ぐと混乱を招く

問

答

最終結論は 議会に仰ぐ

永井寛子 議員



問 社会保険病院を取り巻く状況が「整理機構」から「推進機構」に変わり、理事長に尾身氏がなったということは、良い方向に変わってきたと判断できないか。

町長 町を預かっている以上、私は最悪のことを考えていかなければならない。

問 町長は「買い取る」とは言っていないというが、買い取りのための3つの条件を出している。誤解を生むような言い方が、町民の不安を招いているのではないか。

町長 病院が閉鎖されてか

らでは遅い。だから、今のうちから最悪のことを考えながら、あらゆる手段を打っていきたく思っている。

問 県主導でいくつか案が示されているが、現時点で市川三郷町立病院との統合は、選択肢の中にあるか。

町長 医療交付金を使っての統合は、時間的余裕がないと考えている。

問 県は10月をタイムリミットとしているが、町長の考えを伺う。



タイムリミットはいつか

町長 県の予算審議を考えると、私も10月ころがタイムリミットと考える。

問 交付金の期限のために結論を急ぐと、混乱を招くことにつながる。国も県もこの小さな町に買い取りを押し付けてきているように思えてならない。町はもつとしぶとく交渉していくべきでは。

町長 最後には議会の判断を仰ぐことになる。

問 町民も一体になり、地

元の声を国に届けるためにも、町民との情報共有は必要だと思つが。

町長 住民に理解してもらうことは、町の責務としてやっていきたい。

**学校給食の
地産地消の可能性は**

問 インターネットで学校給食の食材産地が公開されている。ある週を例にとれば、33種類のうち、山梨県産は3種類だけだった。地産地消が難しいのは何が原因しているのか。

教育総務課長 地産地消は、食育や食の安全面で必要性は認識している。このため学校栄養士とJAふじかわで食材の調達について話し合い、昨年7月から12月にかけて、JAふじかわを通じて地元産の季節の野菜を提供している。

問 穀類はどこから来ているのか。

教育総務課長 米については学校給食会で県産米を利用している。

問 エネルギーの地産地消を どう考えているのか

答 環境にやさしい 再生エネルギー導入に努力

保坂 実議員



問 電力自由化への制度改正により、7月1日から再生可能エネルギーの全量買い取り制が実施される。町民への対応は。

町民生活課長 電力事業者への制度なので、町は関与できない。

問 町内で111件の太陽光発電が公的補助で設置され、今年度も15件を補助して設置計画を進めている。一層の普及をするための考えは。

町長 再生可能エネルギーの導入は重要と考える。順次計画的に位置付け、適地があれば大きな太陽光発電もと考えている。

問 稼働している111件の発電量を計数で換算すると、森林なら36ヘクタール、CO₂排出量なら120トンを抑え、環境保全した計算になる。設置利用者の一層の普及を期待したい。

また、戸川・大柳川や用水路を活用した小規模水力発電の考えを問う。

町民生活課長 水利権や発電施設の費用対効果、リスクを考えると難しい。



太陽光発電の普及を

自然環境に配慮した健全な森林造成は

問 県は健全な森林造成のため環境税を導入した。当町112平方キロメートルのうち81%は森林。森林が果たす役目は多目的だが、特に二酸化炭素を吸収し、

酸素を供給して空気中の酸素21%を維持している。当町内では年間約9万トンのCO₂を排出している。

この排出量を吸収するには、成木643万5千本が必要だ。適切な造林・間伐で荒廃林をなくし、自然環境を守るための考えを問う。

農林振興課長 健全な森づくりを進めるため、民有林を対象に森林環境保全推進事業を進めていきたい。

荒廃林や里山林の再生にこの事業を取り入れ、健全な森林造成に努めたい。

問 自然災害に強く、水源かん養や生物多様性に配慮した森林造成には、針葉樹と広葉樹の混交造林が必要不可欠だ。行政の考えを問う。

農林振興課長 水源かん養、治山・治水など公益的機能を果たすためには、針葉樹と広葉樹のバランスの取れた森づくりが必要と考える。

樹木の成長に応じた適切な間伐や、森林環境税を活用した広葉樹の森づくりに努力したい。

今までご愛読いただいた、「郷土の先人たちは」シリーズが終了し、新しく「ふじかわ昔ばなし」を連載します

ふじかわ 昔ばなし

仙洞田と姫ん淵

高下の仙洞田の地名についてには悲しい伝説がある。

昔、南部次郎重清は、北面の武士として京都の仙洞御所に仕えていたが、忠勤を励み功績があつたので、望みのものを賞にとらせるから申してみよといわれた。

そのころは第一〇二代後花園天皇の代であつたが、御所には浅黄姫という美しい姫がいた。重清は、かねてからこの姫を慕つていたので、「今なんでも賞与に望めと言われましたので、姫を賜りたい。」と申し出た。御所では貴い姫であるが、約束したので止むを得ず重清に賜ふことにした。

間もなく重清は官を退き、姫を伴つて故郷の穂積村に帰り、その辺の田を開いてお百姓を始めた。姫はそこで毎日なれぬ仕事についで日々を送っていた。

ある日、姑から麦をつけといわれ、臼に水を入れないでついたので、二週間続けてついたが麦がむけず、



姫宮神社(高下)

姑からも何も教えてもらえず、とうとうこらえきれなくなり涙を流すと、その涙が臼に入り、そこだけしめつて麦がつけた。麦をつくのには水を加えることを知った姫は、くやしき悲しさの余り、下女を連れ、馬に乗つて家を逃げ出し、近くの淵に身を

投げて死んだ。

下女もその後を追つて淵に身を投げた。姫が身投げした所を「姫ん淵」、下女が身投げした所を「下女ん淵」といい、かたわらの石に馬の足跡がついている。

また、この辺りの地名は仙洞御所の由来から、仙洞田と呼ばれるようになった。姫の墓は延寿寺にあり、下女の墓は淵のかたわらにある。また一説には、その後この淵の辺りを通行する者が事故にあつたり、村の者が病気になるたり、種々の異変を生じたため、里人は恐れて、姫の霊を鎮めようと、姫宮明神を勧請したといわれ、明神は、後に諏訪大明神と改称され今に至っている。(増穂町誌から転載)



重清と浅黄姫の墓(高下延寿寺)

議会クイズ

問題1. 休日議会は6月 日(日)でした。

問題2. 広報モニターの人数は 人です。

問題3. 議員地区懇談会は 力所で実施

《景品》抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。

《応募要領》必要事項を記入の上、ハガキにて応募ください。

・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名
・年齢 ・電話番号 ・議会だよりの感想

《宛て先》〒400-0592 富士川町天神中条1134
富士川町議会事務局 行

《締め切り》平成24年8月末日(当日消印有効)

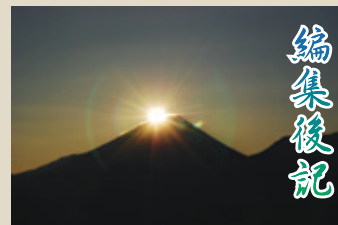
《当選者の発表》商品の発送をもって当選と代えさせていただきます。

前回の答え(1)69億9,423万円(2)4(3)予算
厳正なる抽選の結果、3名の方に賞品を発送しました。

お詫びと訂正

議会だより第8号P12、モラーさん8人に聞きま
した「M・Kさんのコメント中、町官住宅は町有住宅
の誤りでした。お詫びして訂正します。

編集後記



議員として3年目を
迎え、新しい議長が就
任し、常任委員会も改
選されました。広報常
任委員も同様に改選さ
れ、初めての議会広報
の発行となりました。
病院、リニア、議会改
革など課題は多く議会
や町の情報を的確に伝
えていきます。議会だ
よりがより親しまれるよう頑張りますので
皆さまの「ご意見」感想をお寄せください。
(神田 智)